

当社新規LNG事業について



2019年7月8日
三井物産株式会社

ロシア・Arctic LNG 2 プロジェクト 出資参画について

1. プロジェクト概要
2. 開発コンセプト
3. Arctic LNG2の特徴

プロジェクト概要

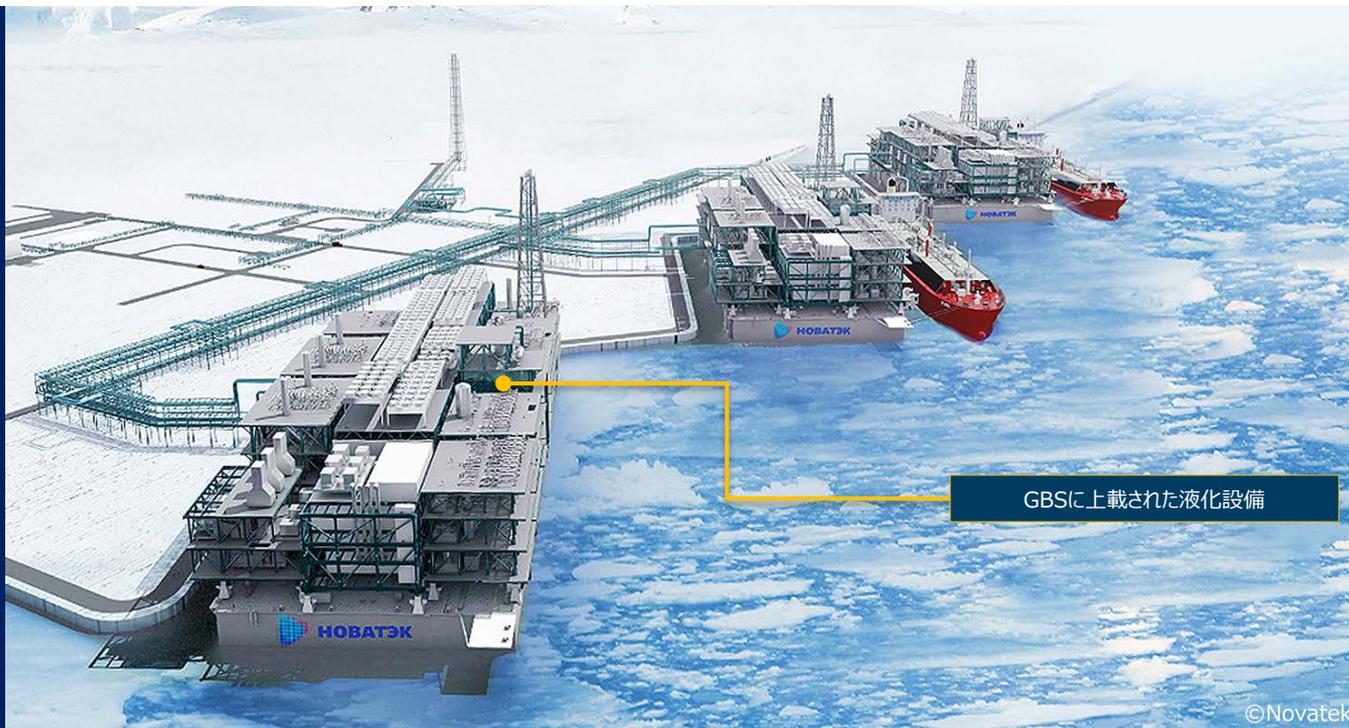
| | | |
|-----------------|----------------------------|-----|
| サイト位置 | ロシア連邦・ヤマロ=ネネツ自治管区 ギダン半島 | |
| 鉱区 | ウトリエ ガス・コンデンセート田 | |
| LNG生産 キャパシティ | 年間1,980万トン（3系列合計） | |
| 事業会社 | Arctic LNG2 LLC | |
| FID時期 | 2019年3Q予定 | |
| 開発費 | 210-230億ドル ⁽¹⁾ | |
| 株主構成 (当社参画後) | Novatek | 60% |
| | TOTAL | 10% |
| | CNPC | 10% |
| | CNOOC | 10% |
| | Japan Arctic LNG | 10% |
| | *三井物産とJOGMECのJV | |

(1)Novatek試算



©Novatek

開発コンセプト



開発コンセプト

- ◆ 在来型の陸上ガス田の開発
- ◆ GBS*プラットフォームに液化設備を上載
- ◆ 液化設備でモジュール工法を採用することで現場作業を最小化
- ◆ GBSや液化設備モジュールを専用ヤードで製造し工期を短縮

*Gravity-Based Structure (コンクリート製の洋上着床型構造物)

生産開始⁽¹⁾

- ◆ 第一系列：2023年
- ◆ 第二系列：2024年
- ◆ 第三系列：2025-26年

(1)Novatek想定

Arctic LNG 2 の特徴

砕氷仕様LNG船の活用エリア



ムルマンスク
積替基地

Arctic LNG2

カムチャツカ
積替基地

積替基地
(カムチャツカ/ムルマンスク)

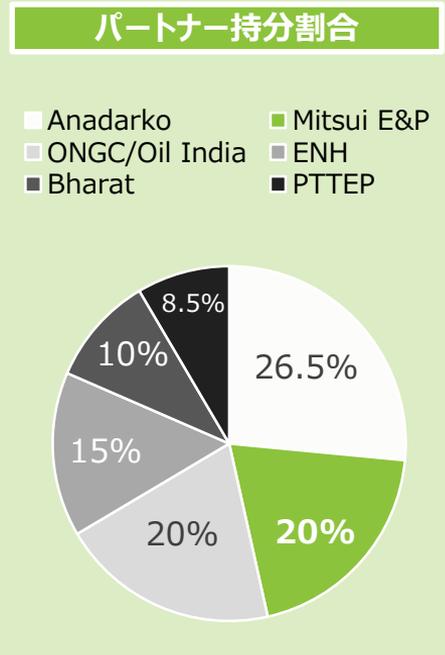


- ◆ ガス埋蔵量が豊富なヤマル・ギダン地域における上流一体型開発
- ◆ 最適化された開発コンセプトに基づくコスト競争力
- ◆ 北極海航路を活用した極東、アジア、欧州等の需要地へアクセス可能なロケーション

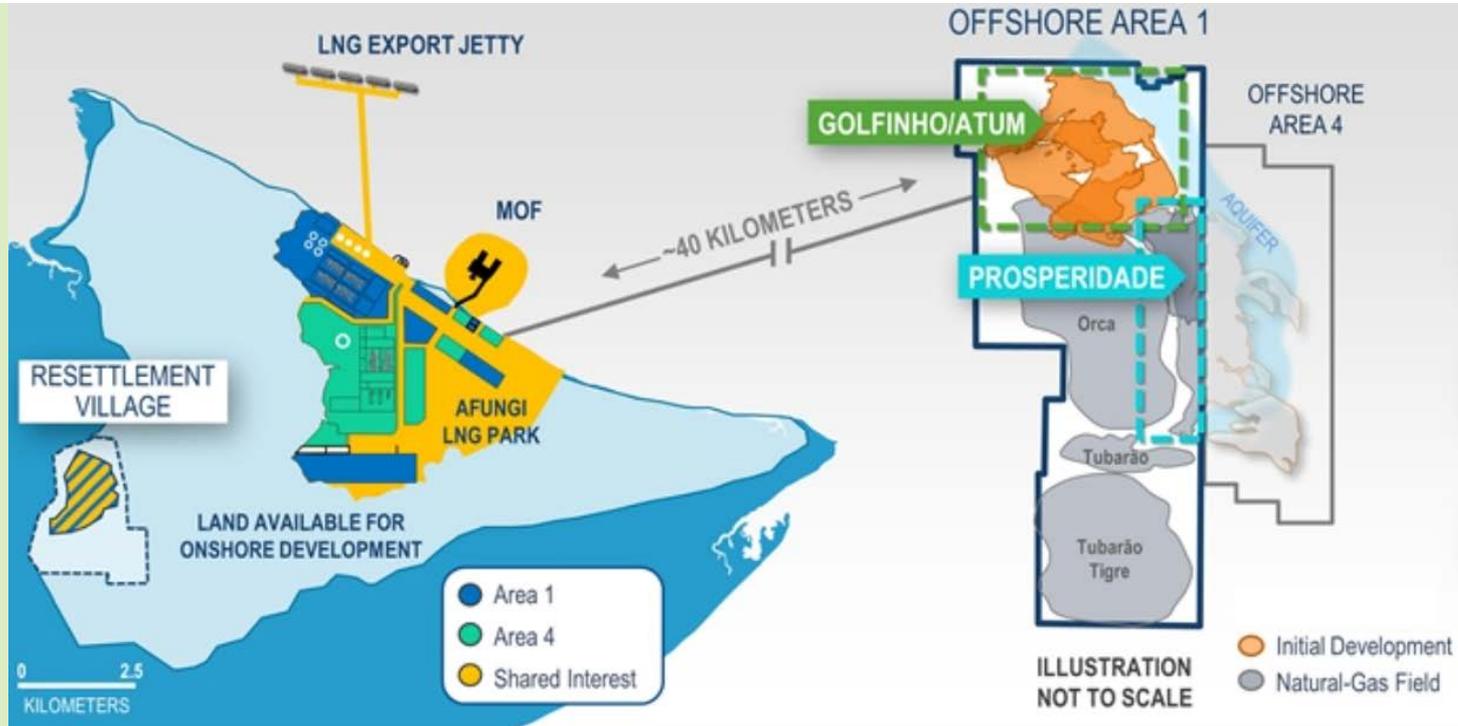
モザンビーク Area 1 LNGプロジェクトについて

1. 鉱区ロケーション・プロジェクト経緯
2. 開発概要
3. LNGプラント完成予想図
4. プロジェクトの特徴

鉦区ロケーション・プロジェクト経緯



開発概要



LNGプラント完成予想図

- ◆ LNG年間生産量：
1,200万トン(全2系列)
- ◆ LNG貯蔵能力：
36万m³(タンク2基)
- ◆ 総開発費：
約230億米ドル
- ◆ 生産開始時期：
2024年

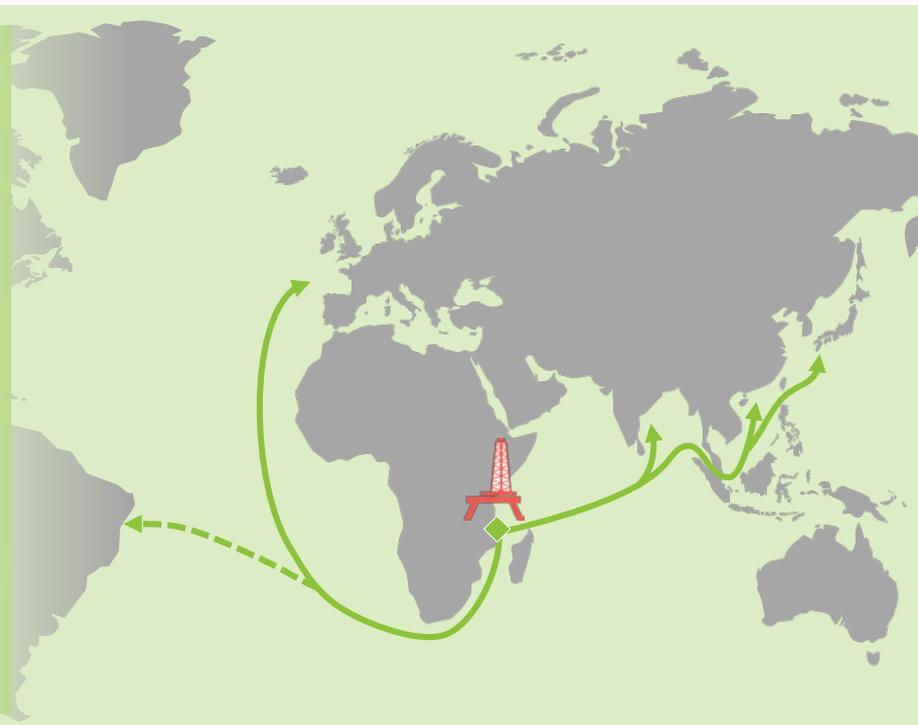


プロジェクトの特徴

- ◆ 世界有数の豊富な天然ガス埋蔵量(75兆立方フィート)
- ◆ 東アフリカという新たなLNG供給源
- ◆ 極東、アジア、欧州、中南米等の天然ガス需要地にアクセス可能な戦略的ロケーション
- ◆ モザンビークの国を挙げた支援

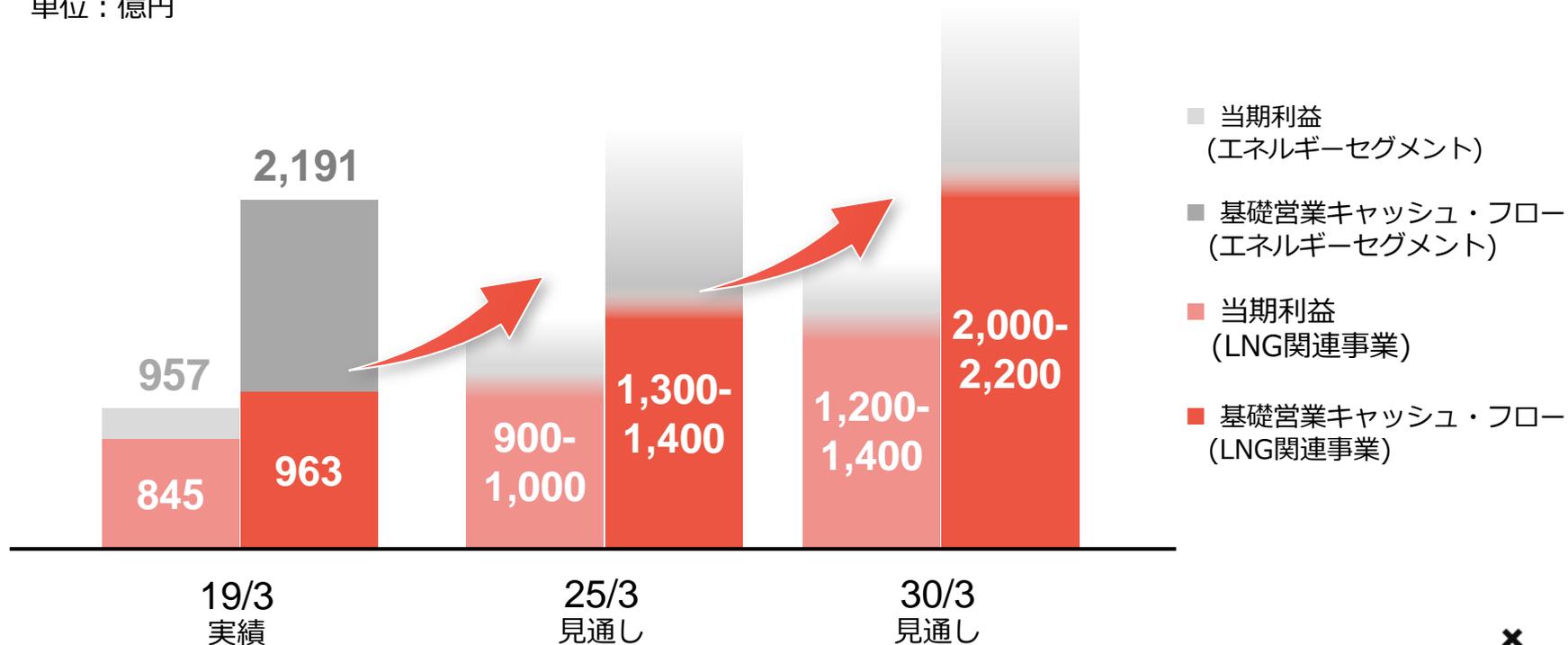
| LNG販売先 | 年間販売数量 (万トン) |
|---------------|--------------|
| 東京ガス&Centrica | 260 |
| Shell | 200 |
| JERA & CPC | 160 |
| CNOOC | 150 |
| EdF | 120 |
| Bharat | 100 |
| Pertamina | 100 |
| 東北電力 | 28 |

合計
1,100
万トン超



定量見通し

単位：億円



360° business innovation.



MITSUI & CO.